

小島 真一 Shinichi Kojima

フェースグループ COO

株式会社フェースビューティ 代表取締役社長

略歴◎1996年(株)フェースコスメティック入社。グループ会社分割合併により、2006年(株)フェースビューティ代表取締役社長就任。2014年からフェースグループ COO。「フェース(FAITH)=誠実」を掲げ、お客様はもちろん、製品、社会、社員、会社、そして自らに対してつねに誠実な対応を心がけ、あらゆる努力を惜しまないという経営理念を提唱。また「健やかに、美しく、生きるために。」を企業スローガンに、真の美しさの実現を追及している。

Business Forecast

# 最先端で、肌を一番安全かつ 美しくできるものとは何か?

## 特許化粧品で 美しくなつていただき、 生涯のおつきあいを

とができます。また、年齢のターゲットがないところも特長で、実際のユーザーの方の年齢データは、ほぼ人口構成と同じです。生涯を通じてお使いいただくことを目指しています。

### 生コラーゲンが肌に入る化粧品という奇跡

当社は現在、プロ向け中心にお取り引きをさせていただいており、サロン様向けビジネスがグループ全体のおよそ3分の2を占めます。エ

ステティックサロンは施術とカウンセリングに時間をかけ、化粧品の正しい知識が学べる場でもありますので、当社の提唱する「バランスのとれた外観・内観・精神面を目指す「三美容」と親和性が高いのです。

私たちには製品をご提供するだけではなく、サロン様のスタッフやエステティシャンの育成に最

ご陰様で、昨年は「フェース生コラーゲン」という2つの特許を6年越しに獲得できました。これは私たちが所有している特別な技術が認められたということ、「この一番主力とする製品を関係の皆様にご案内して、一人でも多くのエンドユーザーの方にお使いいただくことに徹してきました。当社は創業者である私の父、小島豪CEOが1977年に起きた化粧品で顔が黒くなつたという「黒皮症裁判」にショックを受け、「合成界面活性剤を使わない化粧品をつくりたい」という強い思いを抱いたことが起源です。創業間もないころは水とゲル化剤のみのゲル化粧品

を展開していましたが、その後、カット・ソッ

ド・アッセイ法による活性酸素を発生させない化粧品を開発するなど、何段階かのイノベーションを経て、約6年前に東京理科大学発ベンチャーエンタープライズ「L.V.M.C.」と出会ったことから今回の「フェース生コラーゲン」という成

エステティック産業というのは「実際に肌結果を出していくこと」が大切で、お客様から一番求められるところだと思っています。フェース

が誕生しました。

という会社は過去からずっと、「最先端で、肌を一番安全かつ美しくできるもの」を追求し続けてここまで来ています。今は私たちが特許を取得した「フェース生コラーゲン」「フェースゼラチンコラーゲン」が最先端でベストです。

「フェース生コラーゲン」「フェースゼラ

チ」を使ったスキンケアは、非常にユニークなメカニズムを持っています。コラーゲンというキーワードは女性ならすぐにびんとくる、保湿効果にすぐれた成分ですが、分子量が大きいために普通塗つただけでは肌に浸透しないのです。美容外科ではコラーゲンを注射で入れますよね。それを当社では、浸透性の極めて高い独自のナノカプセルに生コラーゲンを巻きつけることで、塗るだけで元来肌のなかにあるものと同じ状態の、生のままのコラーゲンを外から入れることに成功しました。私たちは「角質層内ラメラ美容法」と言っていますが、ラメラ構造の欠け落ちた部分を補修して、化粧品自分が肌の一部になつていくという独自の機能により、瞬時に美しい肌を取り戻す



### 特許技術のフェース生コラーゲンが肌を変える

生コラーゲンが浸透、ナノカプセルが肌の一部になり、土台から美肌へ導くフェースメソッド



分子量が大きい生コラーゲンを肌のリン脂質と似た成分でできた「ナノカプセル」に巻きつけた「フェース生コラーゲン」。1瓶に約18兆個配合。フリーズドライ(凍結乾燥)させた美容液『プレケアエッセンス C』を、ビタミンC配糖体配合の『プレケアウォーター C』で溶かす、新しいタイプの美容液。